

静岡大学 新教職大学院（改組計画概要）

新教職大学院は現在設置申請中です。
内容は計画であり、変更が生じる可能性があります。
入試日程等は今後随時ホームページで公開しますので、ご覧ください。

「子どもがスターになる、学校がステキになる。」

■改組の趣旨

静岡大学教職大学院では、これまでも学校や地域の教育リーダーたる高度な専門的職業人としての教員を養成してきました。改組によってその機能をさらに充実させ、教育に対する使命感や倫理観等の教育的素養を高めるとともに、理論知と実践知とを往還・融合する新しい知識体系の構築に取り組み、授業力、生徒指導・支援力、教育課題対応力、学校改善リーダーシップの4つの資質・能力に基づく高度な実践的指導力を身につけた教員を育成します。

中高等学校免許取得者が小学校免許を取得することができる小学校免許取得プログラム（履修年限3年）、静岡県・静岡市・浜松市教員採用試験合格者に採用の猶予が与えられる特例措置等、多様な学びに対応する履修制度も充実しています。また、愛知教育大学との共同による博士課程も設置されており、教職に関する研究者としての進路も開かれています。

■こんなところが変わりました

①教科教育分野の新設

教科の深い専門的知識に裏付けられた高い実践性を持ち、新学習指導要領に示される資質・能力を児童生徒に身に付けさせる教育活動を展開できる教員を養成します。

②幼児、養護、現代的教育課題分野の新設

幼児教育、養護教育各分野に高い専門性と実践力を持つ教員を養成します。また、現代的教育課題分野では、ESD や環境教育、防災教育など最近の教育課題に対応した実践力と授業力を持つ教員を養成します。

③3 コース合わせた定員を、20 名から 45 名に拡大します。

④「現職教員」と、主として学部新卒学生（ストレートマスター）の所属するコースを分けることで、養成する人材像に見合ったカリキュラム提供が可能になりました。

⑤教科専門・教科教育から教育学・教育心理学まで、幅広い専門性を持つ大学教員（約 100 名）で指導します。

■これまでの修士課程との違い

改組に伴い、既存の修士課程は廃止されます。新教職大学院は既存の教育学研究科修士課程と比べ以下のような違いがあります。新設された教科教育分野では、教科を支える専門的知識を深めつつ、豊富な実習科目（学校等での実習 10 単位）や共通科目（18 単位）を履修することで、実践的指導力を獲得できます。修了には従来の教育学研究科で課されていた修

士論文にかわり、「成果報告書」「課題研究報告書」が課されており、分野の学びをまとめる機会も提供されています。

■新教職大学院の概要

1)コースの構成、定員概要

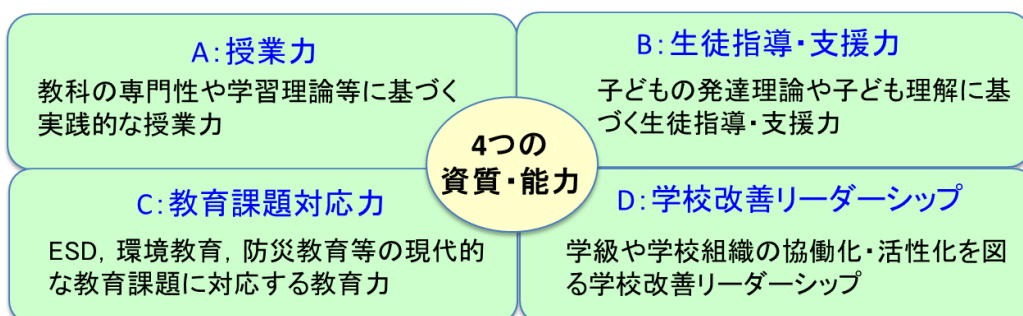
教育実践力育成コースでは、ストレートマスターを対象に、教育活動に積極的に取り組み将来的にリーダー的役割を担う新人教員を養成します。

教育実践開発コース、学校組織開発コースでは、現職教員を対象とし、指導主事、主幹教諭などの専門研修リーダーとして活躍できる中核的中堅教員を養成（教育実践開発コース）、あるいは、管理職、指導主事、主幹教諭などの組織運営リーダーとして活躍できる中核的中堅教員を養成します（学校組織開発コース）。

教育実践高度化専攻 ＜45名＞		
教育学研究科	教育実践力 育成コース	教育実践開発 コース
	学卒院生(ストレートマ スター) ＜約25名＞	現職院生 ＜約20名＞
	〔分野〕 教育方法 教科教育 生徒発達支援 特別支援 幼児教育 養護教育 現代的教育課題	〔分野〕 教育方法 教科教育 生徒発達支援 特別支援 幼児教育 養護教育 現代的教育課題
		〔分野〕 学校組織

2)カリキュラム編成の概略

4つの資質・能力に基づく高度な実践的指導力を身につけるとともに、3)に示す分野のいずれかに重点をおいて学びを深め、高度な実践的指導力を育成／向上する、カリキュラム編成としています。



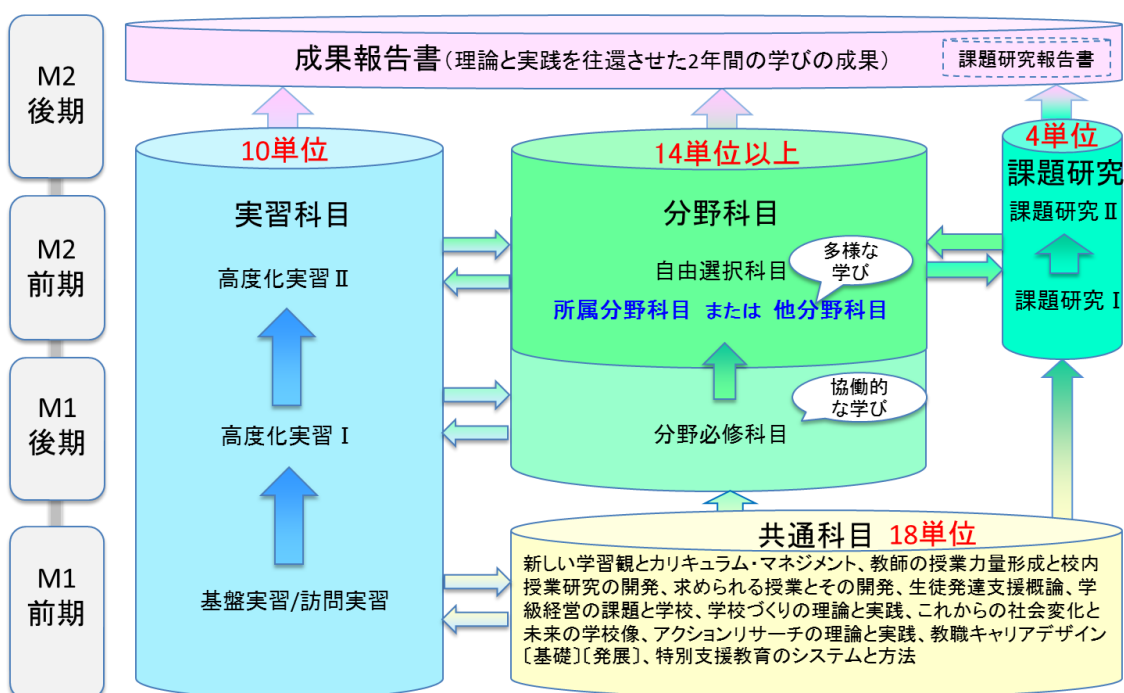
3)分野について

教育実践力育成コース・教育実践開発コースには以下の7つの分野が設置されます。また、学校組織開発コースには「学校組織」の1分野が設置され、院生はその一つを選んで学びを深めます。

教育実践力育成コース・教育実践開発コース	教育方法	学習科学等の学習理論や教科横断的な視点に基づく汎用的授業力を育成・向上する
	教科教育	中等教育教員を目指す学生を対象として、教科の専門性の深い理解と実践に基づく授業力を育成・向上する
	生徒発達支援	教育心理学や臨床心理学の観点からの子ども理解に基づいて生徒指導・学習支援等を遂行する生徒指導・支援力を育成・向上する
	特別支援教育	障害の種類・程度に応じた子ども理解に基づく支援や指導等を遂行する生徒指導・支援力を育成・向上する
	幼児教育	発達段階に応じた子ども理解に基づく幼児への指導等を遂行する生徒指導・支援力を育成・向上する
	養護教育	発達段階に応じた子ども理解に基づく保健指導、健康管理等を遂行する生徒指導・支援力を育成・向上する
	現代的教育課題	ESD や環境教育, グローバル教育, ICT 教育, 防災教育等の現代的教育課題への対応力を育成・向上する
学校組織開発コース	学校組織	中堅教員を対象に、他の教職員と協働してビジョンを形成し、組織の改革を牽引する学校改善リーダーシップを開発する

なお、コースは受験時に決めて入学しますが、分野は入学後に教員と相談の上で決定します。

4)カリキュラム



上図では、履修年次ごとの履修科目の概要を示しました。また、以下に「教科教育分野」の履修例を示しました。

【授業力】の育成/向上	
【教科教育】 教科の専門性の深い理解に基づく教科授業力の育成/向上	
分野必修科目 6単位	教科横断的教育課程論(2) ※全教科共通 教科学習論(領域名)(2) ※領域共通 教材開発論(教科名)(2)
自由選択科目 8単位	教科内容論(教科名)(2) 教科指導論(教科名)(2) 教科内容演習Ⅰ・Ⅱ(教科名)(2) 教科教育専門研究Ⅰ・Ⅱ(教科名)(2)
課題研究 4単位	課題研究Ⅰ(2) 課題研究Ⅱ(2)

■取得できる免許

以下のような専修免許状を取得できます。

幼稚園、小学校、中学校（国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・保健・技術・家庭・英語）、高等学校（国語・書道・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・保健・工業・情報・家庭・英語）、養護、特別支援学校（知的障害者、肢体不自由者、病弱者に関する教育の領域）